

いつでもどこでも 私たちは 様々な刺激を、共にある世界から受けとって生きています。

次々に降り注ぐ刺激が、自分にとって好ましく思う時もあるでしょうが、受け容れ難いこともあることでしょう。

しかし、それらのすべては、自分の今...物の見方や価値感、考え方のプロセスや判断の仕方...を超えたところに向かわせてくれる ひとつひとつで あるはずです。

季節の変化も、そのひとつかもしれません。

そうと静かに“便り”として届けられる、移りゆく風景や自然の表情の変化に、私たちは わくわくします。

私たちが 頭で理解していることを 遙かに超えて、自然界や宇宙の大きき営みの中に私たちは生きていますが、同時に私たちは 私たち自身の中に それらを 受けとめ 生かしながら 過ごしているのです。

また、誰かから届く一言や 近況や営みのお知らせも、格別に刺激的で“祝福に満ちたプレゼント”です。

痛しや 勇気や、のどかさや励まし...を、心通わせ 共に生きる「人」によって 与えられます。

すでに 次々と 季節の便りが届いています。

「10月の出会い」を 楽しみにしたいと思います。

*

*

*

◎ 先日 背表紙が呼んでくれて一冊の小さな本を書棚から手に取りました。

よく知られている『あなたが世界を変える日』です。

1992年6月 ブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開かれた地球環境サミットで カナダの12歳の少女セザン・カリス=ズキ氏が6分間のあのスピーチをしてから30年が経ちました。

「.....

もし戦争のために使われているお金をせめて
貧しさと環境問題を解決するために使えば、
この地球は 素晴らしい星になるでしょう。

私はまだ 子どもだけど
そのことを知っています。

.....

大人は 私たち子どもに、世の中で どうふるまうかを
教えてくれます。

たとえば、争いをしないこと、話しあいで解決すること、
他人を尊重すること

もし そのことばがほんとうなら、

どうか、ほんとうだということを行動でしめしてください。

.....」

- ◎ 障害をもった方々が運営する 認知センターの
商品を定期的に購入しているのですが、会員への
プレゼントとして来年のカレンダーが送られてきました。
封を開けると 素敵を表紙に表題が書かれて
いられてくなりました。

「暮らしに 虹をさそいで」2023

表紙をめくると 1月のページの前に まず
テーマとコメント。

～山も月も花も みんなが歌う～

あなたも私も、自然の中の生き物も、この星も
みんな自分のリズムを持っている。

耳をすませば聞こえてくるかを、素敵にメロディー。

不可解で 不条理なニュースが山盛り流れてくる今、
それでも 私たちは よろこびのお知らせをも受けとり
発信していきたいと思います。

未来そのものの子どもたちと共にあるのですから！

園長 舟光 泰雄